



ホームページ更新中

言葉パワーでみんなを笑顔にしよう！～全校児童SST授業～

1月13日(土)

1月13日(土)に諸木教諭,岡富教諭による全校児童SSTの授業がありました。今回は「どんな言葉がともだちを元気にするのだろうか。」というめあてのもと、相手を不愉快な気持ちにさせない言葉について考えました。今年度、全校SSTの授業を数回行ってきたため、少しずつ友達同士の関わり方に変化が見られています。ただ、間違ったときや、失敗したとき、友達からの声かけて傷ついてしまう児童も。そんなとき、どんな声かけがあれば、友達が笑顔で元気になるかを、今回は全員で考えました。

はじめにアイスブレイク。元気よく授業に取り組めるように、大きな声を出して歌ったり、手遊び歌をしたりしました。つぎに、気持ちが良くなる言葉と不愉快になる言葉について教師がモデルを示し、自分たちはどちらの言葉を多く使用しているか、自分たちの課題について考えました。そして、どんな言葉が友達を元気にさせるかを考えるために、教師が全員で役割演技をし、その様子を見て、子供たち自身に元気になる言葉について考えさせました。その後は、特別講師としてお招きした鹿屋特別支援学校の西育子先生が描いた絵を見て、子供たち自身が自分ならどんな言葉をかけるかを実践。一人ひとりが言葉を選び、西先生が元気になるようにと「色使いがきれい。」や「個性のある絵でいい。」などの声をかけ、西先生も「皆さんのコメントで、元気になりました。」と全員の発表に笑顔で応えてくださいました。

さいごは決意表明。「友達を元気にするためには～」に続く内容を考え、自分自身の決意表明をしました。表明の中には「元気になる言葉を考える」や「ふわふわ言葉を使う」、「良いところを褒める」などがあり、今後、さらに友達との関係が良くなるだろうと期待が持てました。



エピソード3 |

「親子3分間読書」

～椋鳩十先生提唱「親子20分間読書」の入口～
校長 若松 剛志



小学生の頃は、1か月に1回ほど、夕方公民館へ行き、公民館の集落放送で、国語の教科書を読むのがお決まりとなっていた。今では、その伝統もなくなってしまったらしい。

自分の番が来る前は、放送に備えて練習しなければならない。なにせ、集落中につかえつかえの本読みを聞かれることは恥ずかしいと子供ながらに十分認識していた。放送の後、集落の人が「上手だったね。」などと、声をかけてくれる。

さて、「親子20分間読書」は椋鳩十先生が全国に提唱した運動です。

「子供が声を出して本を読むとき、じっと耳を傾けて聞いてやってほしい。そうすれば、いつしか親と子の心に橋がかかる。そのしみじみとした共感が、人生の宝となる。」

生前そう言っておられたそうです。これは、県・市の教育施策にも脈々と引き継がれ「1日20分読書」運動の推進を展開しています。

御家庭の実態としては、どうでしょうか。20分音読を聞いてあげるゆとりがあるでしょうか。「20分も音読を聞いてあげる時間はないですよ」という声が聞こえてきそうです。

そこで、親子20分間読書の入口として「親子3分間読書」を実践してはいかがでしょうか。3分間ならば、どんなに忙しくてでもできそうではないでしょうか。3分間は、ほぼ、テレビ番組のCMの時間に相当します。

尊敬する大先輩がこんなことを言っておられました。

音読とか暗唱とかいう古い教育方法は、言葉という「いのち」を体得するための永遠の教育方法だと言うことを、ついつい忘れてしまいがちだったのではないかと、思われてなりません。

濱里忠宣「旅人燈」南日本新聞社2002より

是非、今日から親子3分間読書の実践を！
親が子供に3分間読み聞かせすることからでもよいと思います。
親が読書をすれば子供も読書をするようになります。

新たな気持ちで頑張るぞ！～書き初め～

1月13日(土)

土曜授業の2校時、書き初めを行いました。3年生から6年生は今回は半紙ではなく条幅に挑戦。また、1・2年生は硬筆を行い、お手本をまねて、いつも以上に丁寧に文字を書きました。

毛筆の課題は、3年生「友だち」4年生「美しい空」5年生「世界の国」6年生「伝統を守る」。

条幅は半紙の時と違い、長い紙に書くことに苦労したようですが、集中して取り組み、全員が満足いく作品ができたようです。

また、年の始まりに集中して綺麗に文字を書いたことで、気持ちも引き締め、3学期も何事にも頑張る、みんなでも楽しく充実した学校生活を送ろうと決意を新たにしました。



3学期が始まりました。～始業式～

1月9日(火)

17日間の冬休みが終わり、9日(火)に3学期始業式が行われました。始業式では、児童代表のことで、2年生の津中鈴奏さんが冬休みの思い出と、3学期に頑張りたいことを述べてくれました。また、校長先生からは「3学期も全員が怪我や事故をすることなく元気に過ごしましょう。」というお話がありました。6年生と過ごせるのもあとわずかです。全員が仲良く元気に過ごし、充実した3学期になることを期待しています。



2月の行事予定

- 1日(木) 新1年生一日体験入学
- 9日(金) がんがらちゃん・校内読書の日。家庭学習見届け週間(～16日)
- 13日(火) いじめ問題を考える週間(～16日)
- 16日(金) 第2回児童総会
- 22日(木) クラブ活動見学会(3年)
- 29日(木) ミニオリンピック・PTA総会・専門部会



ワクワク子育て講座～家庭教育学級～

1月19日(金)

19日(金)に生涯学習課の山端真規子先生をお招きし、「ワクワク子育て講座」と題し、ミニ講演会を行いました。

子育てに必要なことは「楽しむ」こと。自分自身が楽しみながら子育てしたり生活したりしていなければ、子供も楽しむことはできず、家族も楽しく過ごせないことが分かりました。また、家庭ではしっかりと子供の生活のリズムを作ること、正しいしつけをすること、家庭でのルールを作ることなどの大切さを学びました。

家庭で子供が愛されていると実感できるコミュニケーションをとったり、良いことをしたときはしっかり褒めてあげたりすることは、教師が子供たちと関わっていく中でもできることです。子供たちがのびのびと成長するためには、やはり家庭と学校が連携しながら子育てをしていくことが大切だと改めて感じました。

先生自身の子育て経験を交えての講演会は楽しく、あっという間に時間が過ぎました。また、これまで「子育ては大変」と思っていた保護者もこれからは楽しんで子育てをしてみようという前向きな気持ちになれたのではないかと思います。

忙しかったり、疲れているとつい子供にイライラしてしまうことがあるかもしれません。そんな時は、まず自分自身がリフレッシュして楽しい気持ち、前向きな気持ちになることが大切ですね。家庭と学校が一体となって、原田小の子供たちの健やかなる成長を見守っていただけると嬉しいです。



3学期も頑張ります！！～授業参観～

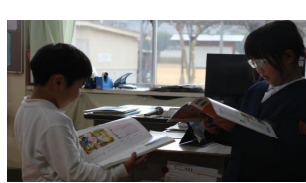
1月19日(金)

3学期が始まり約2週間が経ちました。子供たちもだいぶ生活リズムが戻り、元気に過ごす中、授業参観が行われました。今回、1年生から4年生までは、道徳の授業を行いました。右のアンケート結果からも分かるように、保護者の道徳科に対する関心が年々低下しているため、今回の授業参観は関心を高めてもらえる絶好の機会だったのではないかと思います。

久しぶりに保護者に見守られながら授業を受ける子供たちは、いつも以上に張り切っている様子が見られました。自分の考えを意欲的に発表する姿もあり、学校での子供たちの頑張りが伝わったのではないかと思います。これからも家庭では学校での様子を子供たちに尋ね、どのようなことを学んでいるのかなども話題にしてもらえると嬉しいです。

また、5・6年生は保護者と一緒にお茶とのふれあい授業を実施し、おいしいお茶の入れ方を学びました。お湯の温度や、蒸らす時間、注ぎ方などで、お茶の味が変わることが分かり、あまりのおいしさに感動した人もいたようです。保護者と一緒に学んだこの機会に、ぜひ家庭でも互にお茶を入れて飲み比べしてみるのも楽しいかもしれませんね。

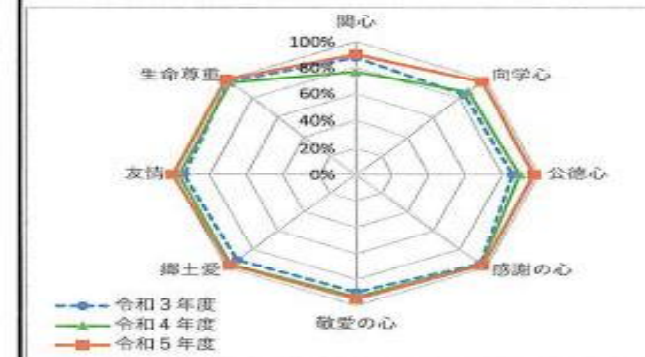
3学期はあっという間に過ぎていきます。学校でも家庭でもいろいろなことにチャレンジしたり、目標を立てて目標達成に向けて頑張ったりして、さらに全員が成長できる3学期になってくれることを期待しています。



みんなで志の心を育もう～令和5年度「志の心」意識調査結果より～

令和5年度「志の心」意識調査総括票

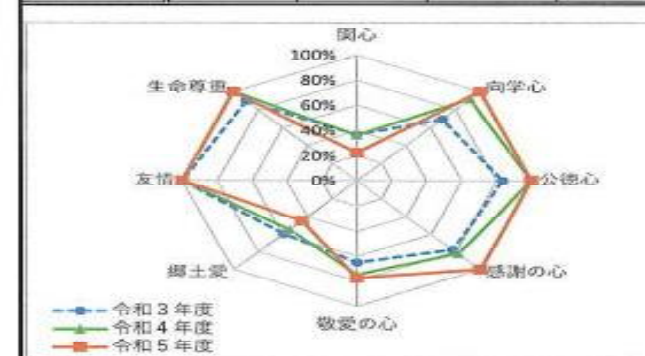
原田小学校児童		肯定的意見 % (小数第1位まで)						
	関心	向学心	公德心	感謝の心	敬愛の心	郷土愛	友情	生命尊重
令和3年度	87.8%	83.7%	85.7%	95.9%	89.8%	91.8%	93.9%	98.0%
令和4年度	76.7%	86.7%	89.7%	96.7%	93.3%	96.7%	96.7%	96.7%
令和5年度	90.0%	97.5%	97.5%	97.5%	95.0%	97.5%	100.0%	100.0%



- 1 道徳科の学習は好きですか。
- 2 将来の夢や目標にむけてがんばっていますか。
- 3 社会や学校のきまりを守っていますか。
- 4 これまで育ててくれた家族に感謝していますか。
- 5 地域のためにがんばった人や、地域のおじいちゃん、おばあちゃんを尊敬していますか。
- 6 自分が育った地域の行事や自然を大切にしていますか。
- 7 友達を大切にしていますか。
- 8 自分や他の人の命を大切にしていますか。

原田小学校保護者

原田小学校保護者		肯定的意見 % (小数第1位まで)						
	関心	向学心	公德心	感謝の心	敬愛の心	郷土愛	友情	生命尊重
令和3年度	36.7%	69.4%	83.3%	77.6%	65.3%	59.2%	100.0%	89.8%
令和4年度	36.4%	91.7%	100.0%	81.8%	75.0%	54.5%	100.0%	100.0%
令和5年度	22.2%	100.0%	100.0%	100.0%	77.8%	44.4%	100.0%	100.0%



- 1 道徳科の学習についてお子さまと話すことがありますか。
- 2 お子さまの将来の夢や目標について話をしたり、アドバイスしたりしていますか。
- 3 社会や学校のきまりの大切さについて話し、規則を守るよう言い聞かせていますか。
- 4 これまで育ててくれた家族(祖父母等も含む)に感謝するような話をしたり、機会を設けていますか。
- 5 地域社会に尽くした先人や高齢者を尊敬し、親しみの心をもつような話をしたり、機会を設けていますか。
- 6 地域の文化や自然を大切にしよう話をしたり、機会を設けていますか。
- 7 友達を大切にしよう話をしていますか。
- 8 命の大切さについて話をしていますか。

上記の結果をみると、児童の道徳科への関心は高まってきていることが分かります。また、全児童が友達を大切にしている気持ち、自分や他の人の命を大切にしている気持ちを持っていると回答し、「志の心」が育まれていることも実感できました。

一方、保護者の道徳科への関心は年々低下しており、今後は授業参観で道徳科の授業を行ったり、児童が学習した内容へのコメント記入をしてもらったりと保護者への啓発も行っていきたいと考えております。今回、保護者のアンケートへの回答率は低かったのですが、「感謝の心」「友情」など5つの項目で100%という結果も出ています。今後も学校と家庭で協力しながら、子供たちの「志の心」を育てていきたいと思っておりますので、3学期も御協力よろしくお願いたします。